

平成二十四年度 狭山台小学校 第一学期

始業式 校長の言葉

校庭の桜の花も若々し緑の木々も、皆さんの進級をお祝いしてくれるかのようにです。四月、春爛漫の美しく明るい狭山台小学校を訪れて、先生方と準備を進めながら、今日のこの出会いの日を楽しみにしていました。

新一年生七十六名、転入生も含め、五百六十七名の児童で、平成二十四年度がスタートしました。

先日、入学式の準備のために、六年生の皆さんが登校してくれました。お掃除が大変上手で一生懸命学校をきれいにしてくれました。そこで六年にお話ししたことを、皆さんにもお話します。それは、狭山台小学校に、「挨拶の声と歌声、学び合いの声を響かせよう」ということです。響かせるには、相手に聞こえる声や歌声が必要です。「おはよう」「ありがとう」の声がこだまして、教室から明るい歌

声や学び合いの声が聞こえてくる、こんなさわやかで明るい「みどりの風」が吹く小学校に、狭山台小学校をしていきたいと思えます。

そのためには、一人一人の命を大切にしなければなりません。東日本大震災では多くの尊い命が奪われました。交通事故も命を奪います。よく考えないでやってしまったことが、大きな事故となり、自分やお友達の命を奪ってしまいかもしれません。傷つける言葉や意地悪をすることは、相手の命を大切にしないということなのです。このような学校では、つらくて、悲しくて挨拶の声と歌声は響きません。暗い学級の中では、学び合いもできません。狭山台小学校には、一人でも悲しい子がいてはいけないのです。

さて、今年度の学校教育目標は、「やさしく・かしこく・たくましい子」です。狭山台小学校の子どもたちの目指す姿です。そのためには、やさしく、力いっぱい運動し、分かるまで勉強し、覚えるまで練習してください。

精いっぱい運動した後は、体が疲れますね。
あきらめずに勉強したら、頭が疲れるのです。
頭と体が疲れるまで一日一日をがんばりましよう。

先生方は、皆さんが、安心して学校生活を
送り、挨拶の声や歌声、学び合いの音が響く
学校の中で、やさしく、かしこく、たくま
しい子に育つよう、一生懸命教えてくださいま
す。たっぷりその栄養をいただき、すくすく
と一人一人の伸びる芽を育ててください。地
域の方々もたくさんさんの応援をして下さって
います。

さあ、いよいよ今日からスタートです。ゴ
ールへ向けて、全力で走り抜けましょう。

平成二十四年四月九日

狭山市立狭山台小学校長

小俣

恵美子